

明石市

国際協力海外レポート

濱田 昌大（はまだ まさひろ）【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：フィリピン共和国 イフガオ州ラガウエ町
職種：コミュニティ開発
赴任期間：2015年7月～2017年10月（予定）



○イフガオ州における第二次世界大戦の慰霊祭

今日、日本とフィリピンは友好的な関係を継続しています。

先般、フィリピンのドゥテルテ大統領が訪日し、また日本の安倍首相もフィリピンを訪れ、両国の今後の発展について議論したことは記憶に新しいところです。

イフガオ州では、毎年、第二次世界大戦の戦没者（フィリピン人だけではなく、アメリカ人、日本人）を慰霊する祭典が開催されます。

慰霊祭では、第二次世界大戦の戦没者を慰霊すると同時に、今日においては、フィリピン、アメリカ、日本の三ヶ国友好の象徴（写真1）となっています。

2017年8月にマヨヤオ町で Lenong Festival が、そして9月には、キアンガン町で Victory Day Celebration が開催されました。

Lenong Festival は、第二次世界大戦時、首都のマニラからイフガオ州まで逃げ延びた旧日本軍が最後に降伏したといわれるマヨヤオにある山の頂きで開催されます。



1. アメリカ、フィリピン、日本の国旗が掲げられる（Lenong Festival）。

イフガオ州には、フィリピンのタガログ語（公用語）でも、イフガオ州のツワリ語（現地語）でもない、多様な現地語があります。

Lenong という言葉は、マヨヤオ町近辺で使われるマヨヤオ語で「平和」を意味します。

今年は、Lenong Festival の期間中に青年海外協力隊 4 名がマヨヤオ町を観光したこともあり、慰霊祭の当日には、主催者であるマヨヤオ町役場からのリクエストに応じて、青年海外協力隊の皆さんと一緒に、慰霊祭の会場で「君が代」や「上を向いて歩こう」を歌いました。

また、夜には、ダンスパーティーやエスニック・ファッションショー(写真 2)などが開催され、華やかなフェスティバルになりました。



2. エスニック・ファッションショーの様子（Lenong Festival）。

キアンガン町は、第二次世界大戦時、第 14 方面軍司令官だった山下奉文大将が降伏した町であり、終戦を祈念する平和博物館やキアンガン戦争記念塔(写真 3)などがあります。



3. キアンガン戦争記念塔（Victory Day Celebration）。

Victory Day Celebration(写真 4)は、キアンガン戦争記念塔前にある広場で開催され、当日は、現地の小学生たちが作ったフィリピン・アメリカ・日本の国旗が至る所に立てられます。

今年も、多くのフィリピン軍や第二次世界大戦の退役軍人が慰霊祭に参加しました。

フィリピン軍による祝砲のあと、イフガオ州知事と軍高官によってキアンガン戦争記念塔へ献花が行われました。

たった1日のうちに、こんなに日本の国旗を見たり、フィリピン人が会場での演説で「Japan」や「Japanese」と話したりする日は、他にはないと思います。

イフガオ州は、世界文化遺産に登録されている棚田で有名な観光地であると同時に、日本人にとっては、フィリピンにおける戦没者について知ることができ、ふと立ち止まって過去を顧みる機会を提供する場でもあります。



4. 会場では、イフガオ族の伝統的な踊りも披露された (Victory Day Celebration)。

以上